| 学校番号 | 320 |
|---|---|

# 令和８年度　音楽科

| 教科 | 音楽 | 科目 | ソルフェージュ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「高校生のための音楽研究ノート」（教育芸術社） | | | | | | |
| 副教材等 | 自主教材プリント | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ピアノ・キーボードを使用した実技や楽典を通して、楽譜の音楽的意味を理解して演奏できる力を高めるための学習をします。
・学習の到達度は、授業で配付する課題や実技テスト・筆記テスト等で評価します。
・音楽の学習は、実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
音楽に関する基礎的な知識を理解するとともに、楽典の内容やピアノ演奏に関する技能を身に付け、適切に活用することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
楽譜を正確に読み取り、音楽の構造や表現意図を捉え、演奏や表現において創意工夫することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
ピアノ演奏及び楽典の学習に主体的に取り組み、音楽表現の向上を目指して継続的に学習しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 音楽の基礎的な知識や理論（楽典）を理解し、ピアノ演奏の基本的な技術や表現力を身に付けている。 | 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽表現を工夫し、どのように演奏するか、音楽をつくるかについて考え、表現意図をもっている。 | 自ら進んで学習に取り組み、継続的に技術や知識を高めようとする姿勢を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | ピアノ基礎技術習得 | 【実技】<br>指使い・スケール練習<br>簡単な曲の演奏(段階別課題曲)<br>ピアノ練習帳(受験形式の小課題集) | a:正確な指使いとスケールの基礎的な技術を身に付け、正確に演奏できる。<br>b:音符やリズムの基本的な構造を理解し、曲の特徴を捉えて表現しようと工夫している。<br>c:日々の練習に計画的に取り組み、課題曲の習得に意欲的に取り組んでいる。 | 観察<br>実技試験<br>提出物(ワークシート、振り返りレポート等) | 観察<br>実技試験<br>提出物(ワークシート、振り返りレポート等) | 観察<br>提出物(ワークシート、振り返りレポート等) |
| | 楽典基礎① | 【楽典】<br>音楽研究ノート<br>第1～3章<br>音名・リズムと拍子・反復記号 | a:音名やリズム、拍子、反復記号の基本的な知識を正確に理解し、楽譜の読み取りに活用できる。<br>c:音楽研究ノートを活用し、自ら進んで楽典の学習に取り組み、理解を深めようとしている。 | 観察<br>筆記試験<br>提出物(ワークシート、振り返りレポート等) | | 観察<br>提出物(ワークシート、振り返りレポート等) |
| 2学期 | ピアノ応用演奏① | 【実技】<br>中級程度の曲の演奏(自由曲)<br>和音や表現技法の習得<br>ピアノ練習帳(受験形式の小課題集) | a:和音や表現技法を用いて演奏し、楽譜の指示を的確に実践できる。<br>b:和音の響きや曲の構造を分析し、演奏の表現意図を明確に持って音楽を創り出している。<br>c:自由曲の選択や練習計画を自ら考え、主体的に表現力向上に取り組んでいる。 | 観察<br>実技試験<br>提出物(ワークシート、振り返りレポート等) | 観察<br>実技試験<br>提出物(ワークシート、振り返りレポート等) | 観察<br>提出物(ワークシート、振り返りレポート等) |
| | 楽典基礎② | 【楽典】<br>音楽研究ノート<br>第4～6章<br>音符と休符・音程・音階と調 | a:音符・休符の種類や音程、音階、調性の概念を理解し、楽譜分析に応用できる。<br>c:音楽研究ノートを活用し、理論と実技の関連を意識しながら積極的に学習している。 | 観察<br>筆記試験<br>提出物(ワークシート、振り返りレポート等) | | 観察<br>提出物(ワークシート、振り返りレポート等) |
| 3学期 | ピアノ応用演奏② | 【実技】<br>連弾課題「ねこふんじゃった」<br>ピアノ練習帳(受験形式の小課題集) | a: 連弾の楽譜を正確に読み取り、役割を理解し演奏に取り組むことができる。<br>b: 音楽の要素（リズム、メロディ、ハーモニー）を感じ取り、パートナーと協調しながら表現意図を持って演奏している。<br>c: アンサンブルの楽しさや協力の重要性に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。 | 観察<br>実技試験<br>提出物(ワークシート、振り返りレポート等) | 観察<br>実技試験<br>提出物(ワークシート、振り返りレポート等) | 観察<br>提出物(ワークシート、振り返りレポート等) |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 楽典基礎③・復習 | 【楽典】<br>音楽研究ノート<br>第7～8章<br>コードネーム・アレンジと創作 | a:コードネームの読み方や基本的なアレンジ技法を理解し、簡単な創作に応用できる。<br>c:創作活動に積極的に取り組み、試行錯誤を楽しみながら音楽表現の幅を広げようとしている。 | 観察<br>筆記試験<br>提出物(ワークシート、振り返りレポート等) | | 観察<br>提出物(ワークシート、振り返りレポート等) |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度